

第1回深川地区社会福祉協議会会長賞



表彰者
左から
村岡利子様 サロン「いすゞ会」代表
上田利明様 元地区社協理事と「板4サロン花爽会」代表
安部多恵子様 サロン「グリーングループ」代表

令和7年度も地域福祉実践者の表彰を行います。地域で活動されている福祉実践者を自薦他薦を問いませんので譲歩をお寄せください。

長門市社会福祉協議会会長賞・感謝状



表彰者
左から
橋本憲治様 地区社協理事
久保悦子様 サロン「松の会」代表
岩藤睦子様 地区社協理事
安永加津子様 サロン「えんがわ」代表(表彰式欠席)

深川地区福祉エリア支援員が交代しました。高木悦子さん よろしくお願ひします。

職務内容

- (ア)地域の巡回、状況把握及び課題分析
- (イ)地域のあり方に関する話し合いの促進
- (ウ)課題に応じた具体的方策の検討及び推進
- (エ)地域福祉団体、住民及び行政との連絡調整
- (オ)地域福祉の増進活動
- (カ)ミッションとして、以下を想定
 - 集落で実施の高齢者サロン等への参画
 - 集落で実施の三世代交流への参画
 - 高齢者世帯の巡回

資格 看護師、保健師、または作業療法士



ふかわ地区社協

編集・発行元 長門市地域福祉センター内 深川地区社会福祉協議会
長門市東深川 1321-1 TEL090-3246-5635

だより R7.5.

第8回 なかと SDGs マルシェ

5.11. SUN 9:30~11:30
長門高校前青果市場

防災 資源活用 みんなで「支え合い」「学びあい」「楽しむ」

防災 VR 体験 けむり体験 旬訳あり野菜 売上赤い羽根募金 ゴミ分別

避難所体験 非常用リュック スタンプラリー 譲り合い子供服・おもちゃ無料 詐欺防止啓発

HAND MADE 会場回ってスタンプ集めて お米1合もらおう(1俵限定)

体験コーナー 小さい袋 2×3cm

ビーズ親子 アクセサリー 折り紙だれでも 手提げ紙袋

販売 リフォーム/手作り

チャーム 1個50円 ビーズ アクセサリー リフォーム ふくろ等 箸置き 焼き物

たい焼き 焼き鳥 かまぼこ パン お弁当

協賛 JA山口県 長門統括本部支所 お問い合わせ 未来デザインプロジェクト TEL: 090-3246-5635

ながと SDGs マルシェ テーマ：防災と資源活用(3R)

防 災

資源活用 3R

みんなで「支え合い」「学びあい」「楽しむ」

防災

地震や津波などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。

- ・けむり体験(消防署)
- ・防災メール啓発と避難所環境(テント・ベット・トイレ)・防災リュック(危機管理課)
- ・防災 VR 体験(深川地区社協)
- ・100均でできる防災バック、防災展示(市社協)



資源有効活用(3R)

3R は、Reduce(リデュース)発生するごみの量を減らす、Reuse(リユース)ものをくり返し使う、Recycle(リサイクル)使い終えたものを再生利用するの 3 つの語の頭文字を取った言葉です。環境保護や廃棄物削減に関するキーワードとされています。環境を守り、資源のムダづかいをなくしてごみの排出量を減らすという考え方です。

Reduce (リデュース)

- ・ゴミの分別
- ・水分量の減量
- ・生活環境課

Reuse (リユース)

- ・ゆずり合いの循環
- ・子供品物
- ・深川地区社協

Recycle (リサイクル)

- ・リフォームし再度使用
- ・袋製品など
- ・深川地区社協

燃えるゴミの水分量を減らす

ごみのおよそ 80%は燃えるごみで、燃えるごみのおよそ 45%は水分です。

① 水切りの方法

② 水にぬらさない工夫



ゆずり合いの循環とリフォーム

小さいお子さんの品物は短い期間使用し、「まだまだ使える」ものを次の方にゆずる仕組みを整え活動しています。今回のマルシェでは、チャイルドシートやベビーカー、服などの品もあります。

ハンドメイド:今回子供服やゆずられた布を活用し、袋にリフォームして実費で製品として販売します。

※ローリングストックという考え方

ローリングストックとは、普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。ローリングストックのポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。

深川地区社協たより 2P



R7 年度深川地区社協行動計画

住むよいまちになるように、地域の課題から今年度は 6 つ①地域の福祉、②防災(火災)、③資源有効活用、④いつまでも、いつも「健康で元気」、⑤お出かけサロン(予定)、⑥レググッズ貸し出し(要予約)のことを重点に取り組みます。他団体と連携し地区社協にできることを考えていきます。

1	地域の福祉	自治会連合会、市社会福祉協議会と話し合いの場を持ち地域の課題を話し合います。
2	防災(火災)	3 団体交流会で、消防署からの情報と、現状と課題について話し合います。 県の VR を借りて防災について知る場をつくります。 防災士習得支援を考えていきます。
3	資源有効活用	3R を目的にして、 子供さんを中心としたゆずりあい(必要で無くなった品物を必要な人に)を届けます。 服などをリフォーム、新しい品物(袋など)に変えて提供していきます。 ゴミの分別を生活環境課と共に声かけしていきます。
4	いつまでも、いつも「健康で元気」	福祉セリア支援員と共に、今年度は、転ばない筋力測定を行っていきます。骨折で、動けなくなることが多いことから握力維持を声かけします。
5	お出かけサロン(予定)	高齢者の社会参加を目的に試行的に実施します。 サロンにお出迎え、フジにて(運動、買い物、食事)をして送ります。
6	レググッズ貸し出し(要予約)	子供から大人まで深川地区の行事にレクレーショングッズを貸し出します。使用説明や貸し出し場所に時間があれば出向きます。

継続事業

子育て支援	妊婦さん応援(母子手帳交付時)、初めてポーチ(保健師訪問時)
料理教室	子供料理教室、大人料理教室 依頼に対応
地域イベント応援	地域のイベントに参加(たい焼き)
ながと SDGs マルシェ	年 2 回開催
サロン訪問	福祉エリア支援員と共に
補助金	1 サロンに 10,000 円、わくわく土曜塾 20,000 円



はじめましてポーチ



にぎわいマルシェ風景



おいしいよ！たい焼き

深川地区社協たより P3